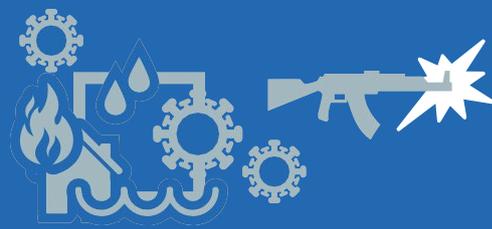


# オロミア州と南部諸民族州でCOVID-19、サバクトビバッタ、洪水および紛争の被害を受けたコミュニティに対する生活再建と平和構築の支援



## ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：56万6,454米ドル

主なパートナー：エチオピア国家災害リスク管理委員会、オロミア州災害リスク管理委員会、南部諸民族州防災・食料安全保障部門

### 目的

被災コミュニティが強靱性を回復し生活を再建する能力を強化し、より確実な生計手段を活用するようになり、平和的な環境で生活し、人々の声が地方自治システムやすべての民主的プロセスの向上に活用することを目指します。このプロジェクトはまた、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行、サバクトビバッタの侵入、洪水、および地域内の民族紛争により悪化する可能性がある、社会的、地域的な混乱を防止することも期待されています。

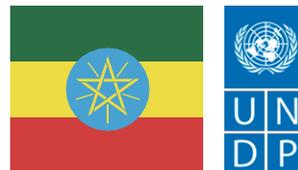
### プロジェクトの成果

**成果1：**COVID-19、サバクトビバッタ、洪水および紛争の被害を受けたコミュニティの生活を向上させること

**成果2：**オロミア州と南部諸民族州で紛争の被害を受けたコミュニティ間の社会的一体性と平和的共生を促進すること

### SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、2、5、6、8および16に貢献します。



From  
the People of Japan

### 開発課題

ゲデオと西グジのコミュニティは現在も、2018年に勃発したコミュニティ間紛争による影響からの回復途中にあります。この紛争により、100万に近い人々が国内避難民（IDP）となり、深刻な人道危機を引き起こしました。

この紛争により、私有財産ならびに医療施設、学校、道路、市場、農地、および水道などの重要な社会的、経済的インフラの大規模な破壊が行われたほか、人々に心理的なトラウマを残しました。西グジ地域で活動している正体不明の武装グループは度々政府軍と衝突し、プロジェクトの対象となっているウォレダ（行政区画）における不安定さの要因となっています。この状況は、国の北部に防衛軍が再配置された後に悪化しました。

プロジェクトは、対象となるゲデオ・西グジゾーンへの介入に関して重大な局面を迎えています。COVID-19やサバクトビバッタ、洪水は、紛争の影響ですでに不安定な状態にあった生活を破壊しました。